

しまだ 議会だより

No.16

9月定例会

2008(平成20)年11月1日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ <0547> 36-7204

☎ <0547> 37-2212

メールアドレス gikai@city.shimada.shizuoka.jp

ホームページ http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp

目次

P 16	P 14	P 11	P 9	P 2
定例会概要&議決結果	討論	委員長報告	議案質疑	一般質問

■千葉山・智満寺に秋の気配を感じる

智満寺は、今からおおよそ二百年前の宝亀二年(西暦七七一一年)、広智菩薩により開かれた天台宗のお寺で、光仁天皇よりいただいた千手観音を御本尊としています。現在の本堂は、天正十七年に徳川家康が建立したものです。

(平成20年10月6日写す)

位置：東経138度10分34秒
北緯34度50分11秒
(市役所)

面積：315.88km²

人口：104,181人

世帯数：34,961世帯

(平成20年9月30日現在)



いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

一般質問

15人が市政を問う

地域の総合力で医療を守ろう



かわらざききよし
河原崎 聖議員
(一問一答)

問 医師不足が深刻になる中、地域医療を守っていくためには、核となる市民病院において勤務医の待遇改善や研修医確保のための研修制度の充実が必要である。また、開業医の誘致策や、市民病院と開業医・薬剤師・福祉施設等とのネットワーク作りが重要になるものと考えている。一方、市民に對しても、市民自らの努力なしでは必要な医療を維持できなくなることについて十分な理解を求め、限られた条件の中で必要な医療を守っていく方法をともに探る取り組みが必要と思うが、どう

答 市民病院勤務医は、当直の時間を除いて月平均40時間の時間外勤務を行うなど長時間勤務が続いているため、当直や外来診療等の負担を減らす努力をしているが、なかなか休めないのが実情だ。研修体制については、救急医療に力を入れた独自のプログラムで研修医確保を進めている。また、多くの学会から研修施設の指定を受けているが、現状では担当医のいない科もあり、指定維持に困難な面もある。開業医の誘致や地域のネットワーク作りについては、個々の



医師の確保が求められる市民病院

ケースごとに必要に応じて進められてきたものと考えている。市民理解を進める上で、市民を巻き込んだ形での取り組みは考えていないが、ホームページや広報紙を通じて協力を求めている。

川根地域の振興策は？ “若者住宅の実現を”



おおいしせつお
大石節雄 議員
(一問一答)

問 川根地区過疎地域自立促進計画（促進計画）の若者住宅整備事業はどうする考えか伺う。
答 平成20年度島田市公営住宅ストック総合活用計画の中で全市的な観点から位置づけを行った上で、具体化を図りたい。促進計画は、時限立法だが、期限後の位置づ

「一問一答」方式とは、質問・答弁時間合わせて50分以内とし、質問回数を制限しない方式です。また、「包括質問」とは、質問時間が30分で、質問回数を3回までとするものです。

問 申請者にいづごろ対応できるかの回答が十分と感じるが、どうなっているか。
答 今もそのようにしているが、川根地区については連携が不十分であった。

問 限界集落に近い地域の給水施設の自主管理は今後大変になっていくが行政としての考えを伺う。
答 新しい問題としてしっかり受け止めたい。実情把握をしたい。

飲料水供給施設の管理

問 計画の中では、旧川根庁舎跡に若者の住宅を建てようという計画になっている。庁舎の解体工事については再見積を取りながら11月議会に提案できればと考えている。

問 すぐやる課は、市民要望受付窓口として位置づけ、その後指示連絡を受けた各担当部局は、責任を持って対応すべき。
答 すぐやる課で対応できないものについては、国、県、各課へ連絡するようにしている。



旧川根庁舎跡の利用計画は？

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

地域に根ざしたFM放送を



ひらまつよしのり
平松吉祝議員
(包括質問)

問 株式会社FM島田が設立され、10月1日に開局する。地域に根ざした放送局を目指し、以下伺う。番組編成の基本方針は。

答 防災、市民生活、地域コミュニティ、産業観光、スポーツ文化の5つの地域貢献を担うという方針を掲げている。

問 教育という観点からの方針も加えるべきでは。子育て支援、次世代育成、学校教育などに生かすべき。

答 いろいろな取り組みを考えているところ。子どもたちにもいろいろなパーソナリティーになってもらう。

問 議会中継の取り扱い。
答 他市の事例を参考に

今後検討する。

問 各世帯への個別受信機(ラジオ)の配布は。

答 検討中だが、第一段階として高齢者世帯、障害者世帯への配布を先行する。

問 行政広告料の支出と行政番組の制作費とのバランスはとれるのか。

答 地域の情報提供を行うために必要な水準を確保している。

問 藤枝、焼津との連携はどのようにとっていくのか。
答 藤枝、焼津にも電波は届く。災害が起きたときには、このFM放送を使うことになるだろうから、応分の負担をしていただくよう、話をしている。

可能なかぎり学校施設の営繕を

問 市内の学校施設は老朽化により改修の必要な箇所が多い。その営繕は可能なかぎり実施すべきでは。

答 子どもたちが快適に学校生活を過ごすために緊急性、重要度、学校要望順位等を考慮して、そしてなおかつ学校周辺の環境対策としての防球ネットの設置や、グラウンドの防塵対策等も計画的に進めていく。



開局を待つFM島田放送局

食育推進基本計画の策定は？

そねよしあき
曾根嘉明議員
(包括質問)



した食育推進計画を目指す方針である。

学校給食費の値上げは？

問 パン、麺類や乳製品を含め、食材費が高騰しており、現行の給食費ではかなり厳しいことが推測されるが、どのような工夫と対応を今後行っていくか伺う。

答 地産地消を通じて安価な食材の確保や献立を工夫し、値上げすることのないよう努力をしている。来年度からは単価の高いアルミパック方式の

米飯給食を、市内五つの小学校で飯缶方式に変える計画を持っている。

問 給食を値上げする場合、結論はいつごろ出されるのか伺う。

答 11月末頃までに結論を出していきたい。パンが6・6%、乳製品が約倍の値段など軒並み値上がりし、自助努力での打開は難しい状況だ。大体1食当たり10円から20円ぐらいの金額をベースに検討をしていくことになると思う。



ある日の学校給食

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

行財政改革、 行財政の経営戦略について



たけしましげよし
竹島茂吉議員
(包括質問)

問 2度の合併を経て、新島田市のまちづくりにおける主要施策「行政と住民の協働のまち」を柱とした開かれた行政と行政の効率化の課題について伺う。

①行政改革実施計画の進捗状況はどうなっているか。②行政評価導入の見通しはどうか。③民間主導の行政改革委員会を設けた事務事業の見直しはするの。④民間活力導入としての事務委託や民営化の見直しはどうか。⑤行財政運営を一元的かつ機動的に行う方法として、企画・財政・人事を統括したスタッフ部門の創設は考えているか。

答 ①153事業の内68事業が実施済みで、44.4%の達成率である。②

予算や総合計画に反映できる行政評価システムの構築を目指した評価手法を検討していく。③行政

改革大綱を改定する平成21年度に検討する。④委託業務計画最終年度の平成21年度に、委託業務の範囲、継続の有無等を定員適正計画との整合性を図りながら検討する。⑤組織の見直しは行政委員会です毎年実施しているが、質問のスタッフ部門の創設は今後の組織の見直しの中で検討する。



島田市・川根町合併・まちづくり計画

五和地域交流センター はどうなる？



すぎむらようせい
杉村要星議員
(包括質問)

の金谷地域交流センターは金谷の住民全員が行く所としては狭すぎる。従って、万が一にでもそういうことにならないように、市長が弱気になることなく、補正予算については議会の納得・了解をいただけるように万全の努力をしていただきたいと思うが、市長の考えはいかがか伺う。

ないことになったので、不足分の6200万円を合併特例債で充当しようとするのが今回の補正である。私には五和地区の皆さんと、早く交流センターを建てるという約束があり、この約束を破るわけにはいかない。現在、五和小には放課後児童クラブがないこと、また、竹下通りの商店街活性化の問題、JAが別の場所に引越したことなどいろいろ問題を考えて五和に交流センターを建てるうとしていいる。五和地区の発展のためには、どうしてもやらなければならないことと考えている。

問 ある経緯の中で、市長が五和地域交流センターの建設に少し弱気になっていいるという噂を聞いた。市長が弱気になることによつて、五和地域交流センターの補正予算が議会を通らなかつたらどうなるのか心配だ。現在の金谷支所は耐震不足のために壊さざるを得ない。しかし五和地域交流センターはできないとなつたら、五和地区の住民はどこへ行けば良いのか。現在、建設中



五和地域交流センター完成予想図

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

「もったいない」を環境教育に



むらたちちづこ
村田千鶴子 議員
(一問一答)

ごみ減量は大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会の構築に向けての取り組みが一層重要視されている。

問 誰でも参加でき、環境改善とともに世界の子どもたちにワクチンを届け命の救済運動として「ペットボトルキャップリサイクル」の取り組みの考えを伺う。(年間約600万本のボトルは資源回収、そのキャップは焼却処分)

答 島田市が収集したキャップをボランティア団体等に提供することは廃棄物処理法違反となるので自主的な事業の推進をお願いしたい。
問 廃食油の回収もトレイ・牛乳パック同様にスパー等々の協力について

の協議はなされているのか。(廃食油による精製油の購入価格は1リットル60円余燃料コスト削減)
答 協議をする段階までには至っていないが重要であるという前提で、今後進めていけたらと思う。

高齢者通院タクシー 利用助成の創設

問 福祉増進を図るため



ペットボトルキャップのリサイクルを！

にも、交通の便の確保が困難な高齢者が安心して治療できる施策として、「高齢者通院タクシー利用助成」の創設をどう考えるか。

答 導入の効果や公平性、財源などの点で課題が多いため現時点での実施は難しい。

問 問題解決策の一つとして、駅南周りのコミュニティタクシーのルートを検討している中で、終点を市民病院にはできないか。

答 民間事業者への圧迫・競合から、大津線同様に乗り継ぐことにより利用していただくほうが現実的と考える。

今こそ国保税の引き下げを！

まつもと さとし
松本 敏 議員
(一問一答)



などのとき必要であり、取り崩しは考えていない。なお低所得者世帯には軽減措置をとっている。

問 10月からは国保税も年金天引がスタートする。高齢者の生活を圧迫する危険がある。従って市の裁量で極力避けるべきだ。

答 国では滞納していない人には口座振替で収めることができるとしている。希望の人は市へ申し出てほしい。

市は雇用促進住宅を 購入すべき

問 「雇用・能力開発機構」が運営している雇用

促進住宅は、市民にとっても大切な施設である。道悦にある雇用促進住宅について平成23年をめどに廃止する計画が発表された。入居者に不安が広がっている。市営住宅に転居希望の人もいる。市は入居者が安心できるよう、雇用促進住宅の購入や入居者の市営住宅への入居など具体的な対策をとるべきだ。

答 老朽化した雇用促進住宅の購入の考えはない。市営住宅への入居希望者には一般の市民と同じ対応をしたい。

問 国保は市民の命と健康を守る、大切な医療制度だ。しかし保険税額が高くなり、支払いに窮する市民が増えている。したがって一般会計から国保会計への法定外繰り入れの増額および支払い準備基金の取り崩しで、国保税額を引き下げるべきと思うがどうか。
答 一般会計から国保会計への繰り入れは他の保険者との整合性もあり考えていない。基金も災害



島田市民病院外来での診察風景

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

島田市財政指数は健全値か？



さかした おさむ
坂下 修議員
(二問一答)

問 地方公共団体の財政の健全性を示す指標の公表が義務付けられた。島田市の財政の健全性を表す直近の健全化判断比率は？

答 実質赤字比率および連結実質赤字比率は、すべての会計において黒字。実質公債費比率は14.9%、将来負担比率は125.1%であり、島田市の財政状況は健全である。

問 これらの数値資料をわかりやすい表現で周知できないか？

答 財政の状況を解説的な記事として、工夫して広報する。

問 事業計画段階で、総工費、維持費を含めた予測数値を示すことができるか？

答 アバウトな数字であっても独り歩きしてしまう恐れがあり、行政としては慎重にいきたい。

問 夕張市破たんの大きなポイントは人口減と捉えている、見解を伺う。
答 人口減の社会を迎え、総合計画の検討でも人口規模の想定が大きなポイント。人口維持の施策には住宅施設が直接的な効果を表している。間接的には子育て支援、高齢者対策、それらのソフト事業を効果あるものとして人口を維持する施策として考えている。



島田市の財政は健全か？(仮称)金谷地域交流センター完成予想図

どうなる 金谷支所！



なかだ ゆうこ
仲田裕子 議員
(一問一答)

問 一年前にも、同じ質問をしたが、その時の市長答弁を再確認しながら、進めたい。金谷支所の将来像は、2カ所の支所機能を持った交流センターの設置計画が進む中、まだ検討中なのか問う。
答 現金谷支所は、2カ所の地域交流センター建設後に解体する方針であるが、時期・跡地利用は決まっていない。
問 市長は一年前、跡地は更地にしないと答弁し



(仮称)金谷地域交流センター建設工事起工式

たが今はどうか問う。
答 更地にはしない。ただ、今すぐの解体ではないので、教育委員会も入っているし、暫定的に、金谷コミュニティなどが使うのもよい。
問 解体費用はいくらかかるのか。
答 今は計算ができない。
問 できないとは、調査をしていないということか。
答 何をつくるかを、検討委員会などで決めてから、解体費用も建設費とあわせて予算措置をする。

問 五和交流センターの合併補助金が先送りになり、財源の組替えが本議会に出されているが、こうした補助金は、再申請して、解体費に使えるのか問う。
答 合併特例債やそういった方法もあると思うので調査する。
土地利計画について
問 空港や新東名高速道路インターが近隣にある地域の農振除外は避けて通れない。景観を考え、無秩序乱開発を心配するが、今後の土地利用計画を問う。
答 現在、国土利用計画をつくっているが、乱開発を防ぐよう、農業を保全すべき地域と開発を図る地域に分けて計画中である。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

余剰温泉50トンの使い道は？



みぞしたかずお
溝下一夫議員
(二問一答)

問 オープン10年目を迎える川根温泉は入館者の9割がリピーターで安定的な状態で推移しているが、周辺地域の類似施設の影響による利用者の減少を食い止める手立てを模索し、事業展開しなければならぬ。

答 温泉利用審議会で調査、審議して答申する。委員は5名(学識経験者、観光関係団体の代表者、川根温泉指定管理者の代表者ほか)

問 1施設への1日の給湯量の制限は？

答 運搬車による給湯は1日5キロリットル、引湯設備による給湯は毎分15リットルである。

問 現在、給湯している施設は何か所か、給湯量は何トンか？

答 5施設、合計20トン(デイサービスセンター、湯2カ所)である。

問 給湯制限の基準は何で判断するのか？

答 川根温泉への給湯量に支障のおそれのあるとき、また温泉の管理上適当でない場合(目安として100トンの受水槽の湯量が30トンを切った状況)である。

問 温泉の経営診断結果は？

答 今後、滞在型保養施設として事業展開することが適切であるとの中間報告がされている。

問 平成8年3月21日に交わされた地元との合意



余剰温泉の使い道は(川根温泉)

書について市としての認識を伺う？

答 市としては温泉事業を継続していく限り尊重すべき合意書と考える。

問 余剰温泉の利活用について現在、検討されているか？

答 川根温泉の指定管理者が増設を計画しているコテージ、露天風呂に活用していきたい。

問 65歳以上の介護保険料は、3年ごとの事業計画の見直しのたびに引き上げが行われてきた。しかし、介護給付費などに使われてこなかった分、約6億2200万円が基金として貯まっている。これを取り崩して、介護保険料を引き下げるべきだ。

答 さらに高齢化がすすみ、特養ホームの開設もあり、事業費は増える。来年から第4期事業計画

介護保険料は引き下げるべき！

さくらようこ
桜井洋子議員
(一問一答)



においては、基金も取り崩し、なおかつ保険料の引き上げも考えられる。

問 今まで、1期3カ年の中での事業の推移をみると、大幅に基金を取り崩すということはなかった。その結果、基金は貯まりすぎている。取り崩して引き上げないようにすべきだ。

答 介護保険は長期に見なければ、どういふことが起こるかかわからない。基金は引き下げのために使わない。

木造住宅の耐震補強に上乗せ支援を！

問 県の補助制度を使つての木造住宅の耐震補強

工事の実績はどうか。

答 昭和56年5月以前に建てられた1万2730戸が対象件数だ。そのうち、342件が耐震工事をしており2・69%の実績だ。

問 耐震補強にはお金がかかる。県の30万円の補助に独自で上乗せしている自治体が半数あり、耐震補強が進んできている。島田市でも、独自の上乗せをすべきと考えるがどうか。

答 島田市では、住宅リフォーム推進事業のなかで耐震補強工事も対象としているので、独自の上乗せは考えていない。



器具を使った介護予防でリフレッシュ

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

議会をTVやインターネットで!



津田恵子議員 (包括質問)

問 議場放映が計画されていたが、FMラジオ局開設で先送りになった。テレビで放映、インターネットでの中継、ビデオ配信、ビデオテープやDVDでの貸し出し等で議会の様子を映像で市民に知らせる予算付けをなぜしないのか。
答 10月開局のFM島田で議会放送は検討する。ラジオは一過性だ。聞き逃しや言葉を誤解して受けとめてしまう。ビデオなら何回も繰り返し見ると真意が伝わる。袋井市議会はすでにインターネットで中継とビデオ配信をしている。世界的にインターネットで市民に公開する方法が確立されている。それが市民サービスであり、市民に對

する行政および議会の説明責任を果たす道具だ。
答 FM島田での音声放送が最も現実的だ。紙から音声にかわることは非常に大きな充実。将来的にインターネットでの放映が一般化して、料金も安く、現実的になった場合はその選択肢もあるが、現状はFM島田の音声放送が最もよい。



問 インターネットに載せるのはまだ早いという考えか。いつごろになればいいのか。
答 県内では先駆的な市しか導入していない。インターネットを使った場合、カメラシステム830万円、配信業者委託料170万円等最低1000万円はかかる。全国的に平準化してほとんどの市町ができる状況になるのはそんなに遠い将来ではない。

窮地にたつ茶業・今年が再生元年だ

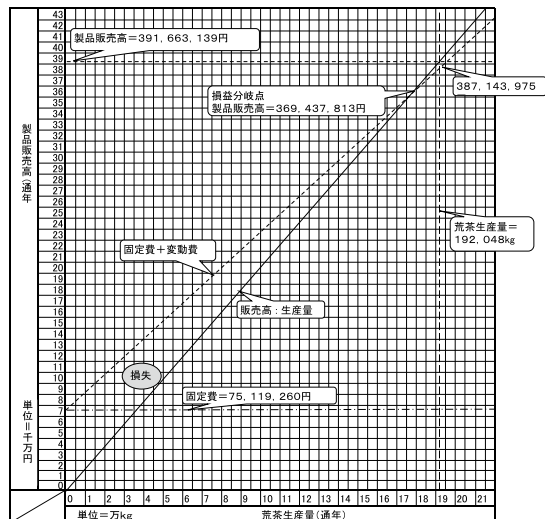
佐野義晴議員 (一問一答)



問 今年から始まった茶改植補助事業と7つの戦略品種を定めた根柢を伺う。
答 茶園の若返り、機械化対応、摘採期の分散化により経営規模の拡大、茶工場稼働率の向上が期待できる。
問 10a当り補助限度額8万円は、茶況・品種茶の販売価格・将来動向からして農家の意欲をかきたて、政策効果が期待できる相当額か。

答 10a当りの改植費は約40万円、その2割を補てんする。
※私の調査によれば労働費を含め約70万円。相当額についての答弁はなし。
問 多額の経費が必要となる全国茶品評会等への出展が減っている。要因は経費倒れと受賞しても生産者に見返りがないことである。出展を促すための支援はできないか。また、受賞した場合、その後の支援体制および考

え方を伺う。
答 当面は現状程度の補助しかできない。副資材の高騰が価格に転換できるシステムづくり、打開に向けての支援が必要と考える。市の考え方と対策を伺う。
答 具体的な対応は難しい。
問 茶農協の経営状況をどのように把握しているか。また、答弁のあった再編・合併に向けた指導体制は確立しているか伺う。
答 構造不況であり将来的にも大変厳しいと思う。生産から消費にわたる一貫した経営戦略を持った法人化を図るように働きかけられる。お茶は基幹産業であり、それに合った政策支援をする。



5つの茶農協を合併したと見立てた損益分岐点売上高イメージ

地球温暖化対策は待ったなし



橋本 清議員
(一問一答)

問 小・中学校や公共施設などの壁面に植物を植え、日光を遮って温度の上昇を抑える緑のカーテン事業に取り組んではどうか。

答 公共施設や、特に学校での環境教育などを含めた取り組みとして、今後、期待できるのではないかと考えている。市民へ緑化に対する情報等についても提供していきたい。

問 七夕の夜に消灯し、夜空を見上げて環境問題に関心を深めていく、クールアースデーの日、7月7日に毎年、啓発イベントを市として実施してはどうか。

答 今後、どういったことができるか検討していきたい。



木質バイオマスエネルギーの利活用
(木質チップボイラー)

問 地域新エネルギービジョンを策定してはどうか。

答 地球温暖化対策、化石燃料を可能な限り次世代に引き継いでいくビジョンが必要ではないかと考えている。

問 携帯電話に含まれるレアメタル(希少金属)のリサイクルを積極的に推進すべきではないか。

問 消防広域化のメリットとスケジュールは。

答 迅速で効果的な出動による住民サービスの向上、現場体制の充実と高度化、財政や組織面での基盤強化などが考えられる。県内を東・中・西部の3つに分け、島田市は中部圏域に入り、平成24年度末までに実現を図っていく。

答 ゴミとして出さないよう今まで以上に周知していきたい。

問 エコポイント制度を市で実施してはどうか。

答 先進事例等を見ながら研究していきたい。

島田市消防本部がなくなる？

議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、9人の議員から50の項目について質問しました。以下、主なものを掲載します。

〔認定第1号〕

H19一般会計決算認定

☆新病院基本構想等策定事業について

問 新しい病院づくり検討委員会の構成メンバー、策定スケジュール、検討内容、前提条件はどうなっているか。

答 学識経験者1人、国県の医療施設に精通した者3人、医療経営に精通した者2人の計6人。スケジュールは、答申を受けた後、年度内を予定。検討内容は、新病院の基本方針、病床種別、診療科目、病床規模などである。前提条件としては、一般病床として350床が妥当かの判断をする、事業費は150億円程度を上限とし、基本的に現地の建て替えなど3つの条件で検討している。

☆防災対策事業について

問 備蓄食料の配分先、市全体の備蓄量、期限切れの更新対応はどうか。

答 市指定非難所に計画的に配分している。備蓄量は25万2360食で、1人につき3食分を確保

する方向で整備している。避難所への配布は市が責任を持って行う。自主防災会が独自で備蓄する場合は、市として2分の1の補助をする。限度額は10万円となっている。



自主防災会による防災訓練



〔認定第12号〕

H19川根町一般会計

決算認定

☆指定寄付金について

問 受け入れた日はいつか、本人持参か、使用目的はあるのか

答 本年3月19日、本人が小切手を持参し、林業の振興や林業地域の活性化のために活用してほしいということでも申し出があったものである。

問 基金条例第6条の解釈でいくと、寄付金の使用については笹間地域に限らず、島田市全域で使えるという解釈でいいか

答 利用範囲は市内全域でということになる。

☆川根町居住促進プランについて

問 策定業務の成果について伺う。

答 島田市、川根町合併市町村基本計画の中で主要事業の一つ、人によさしい定住基盤整備事業の若者住宅整備事業として位置づけている。

〔議案第146号〕
H20一般会計補正予算
☆(仮称)五和地域交流センターについて

問 施設の内容は。

答 支所機能を持つ行政サービス部門、地域コミュニティ機能を持つ多目的ホールおよび会議室、放課後児童クラブと地域包括支援センターを予定している。

問 財源の組み替えに至った経過を伺う。

答 国庫補助である市町村合併推進体制整備費補助金の内示額が要望額の半額となったため、その財源不足額について合併特例債と一般財源に組み替えた。

☆霊園施設の管理運営について

問 建設候補地の選定基準は。

答 交通の利便性、景観、周辺環境等また土地所有者、地元自治会の理解が必要。

問 霊園の規模は。

答 霊園内には納骨堂、水汲み場、通路、駐車場等の施設が必要と考えるので、今後の調査の中で判断する。

問 調査期間と建設スケジュールは。

答 今、議会で議決すれば年度内に完了したい、H20年度～H21年度内で候補地を決定し、地元説明会の後、法的手続きを経て建設に着手する。

〔議案第150号〕
☆島田市ふるさと応援基金条例について

問 「基金は市の振興に必要な経費の財源に充てるため」と明記されているが、具体的な使用目的とは。

答 この基金は、広くふるさと島田を応援したいという思いで寄せられる。特に使途を指定しない一般寄付金について、歳入歳出の状況を明らかにし管理するため新たに設置

しようとするもの。また、使途を指定する寄付金についてはこの基金への積み立てはしない。

〔請願第1号〕
☆川根地区から市民病院へ直通バスを求める請願について

※請願については、現憲法の下ですべての者に請願する権利が認められている。ただし、単に希望を述べるにとどまり議会が採択されても最終的には執行機関が判断する。

問 運行時間の希望はあるのか。

答 コミュニティバス伊久身線に準じた運行(A M6:00～P M8:00)

問 川根地区から病院まで乗り換えなしの路線と

答 既存の伊久身線、相賀線があるが、プラス川根線(直通)の3路線を希望する。

問 路線開設による経費は想定しているか。

答 特に経費の見積もりはしていない、例えば伊久身線が開設したときの

経費はバス3台を購入。運転を委託、バス停の設置他事務費の合計で5506万8000円支出した。これに類すると考える。



市議会議場・本会議の様子

民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決・認定すべきものと決定しました。主な審議内容は次のとおりです。

☆H20 一般会計補正予算

○(仮称)老人福祉センター建設事業

問 植栽の費用は。
答 総額約2000万円のうち、2分の1をグリーンバンクから補助してもらい、残りの1000万円を市が負担する。

○文化財保護費

問 鹿島踊りの装束の更新ということだが、具体的な内訳はなにか。
答 鹿島踊りの衣装の内、つつみとささらの上着24着分である。鹿島踊り保存会の県補助要望が認められたもので、全体事業費518万4000円のうち、県が2分の1を負担し、市が4分の1を負担する。

☆H20 病院事業会計補正予算

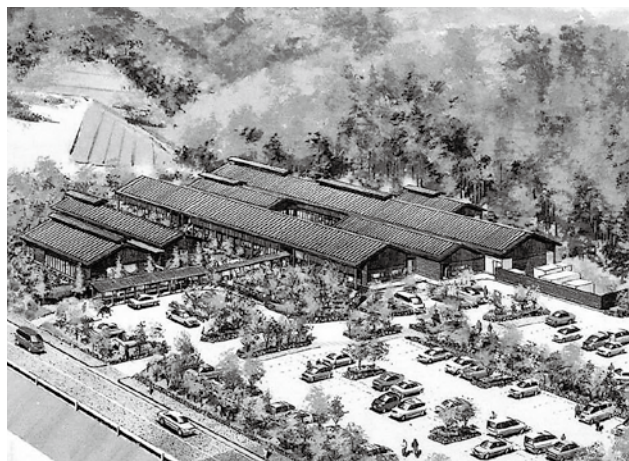
○医療機械器具購入費

問 どのような機械を購入するの。
答 購入する機械はビデオスコップで、腹部等に開けた穴から挿入し、手術を行うものである。

☆職員特殊勤務手当支給条例改正

○医師の紹介状等の作成に対する手当の支出額の見込みは。

問 医師の紹介状等の作成に対する手当の支出額の見込みは。
答 平成19年度の実績から推計し、1800万円程度と見込んでいる。
問 退院患者の4割に紹



完成が待たれる田代の郷温泉に併設する(仮称)老人福祉センター(左側の2棟)

紹介状を書く、新たに診療報酬上の加算が付くということだが、診療報酬の増はどの程度見込まれるのか。

答 手当の支出額を差し引いても1億5000万円程度の収入増になると考えている。

問 この手当は医師・病院にとって収入増の要因となるが、患者の負担は変わるのか。
答 患者の負担は3割で、今までと変わらない。

☆H19 一般会計決算

○障害者福祉サービス費

問 自立支援介護給付事業の利用人数と給付費が前年度と比較して減っている。理由を伺う。

答 ホームヘルパーによる外出支援事業が、自立支援介護給付事業から地域生活支援事業へ移行したためである。実質的な利用は増えている。

問 自立支援制度により1割負担が導入されたことで、利用者の手控え等があったか。



市内の放課後児童クラブで遊ぶ子どもたち

☆H19 川根町一般会計決算

○心身障害者福祉費

問 人工透析通院交通費助成の方法を伺う。また、今後存続するのか。

答 人工透析を受けるために通院した方に対して交通費の一部を助成するもので、合併前の川根町で支給を受けていた方に継続して実施をしている。島田市になかった制度なので、重度心身障害者医療費に位置づけて助成しているが、合併の申し合わせにより新規は対象としない。

○放課後児童クラブ運営事業

問 開設日の検討について

答 平成22年度から国の採択基準が年間開所日数250日以上となる。平成21年度までに対応を確定しないと補助採択が受けられない事態になる。土曜日の開所も視野に入れないながら検討していきたい。

答 実績が若干減っているが、1割負担が原因かはわからない。

経済建設文化常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決・認定すべきものと決定しました。
主な審議内容は次のとおりです。

☆H20 一般会計補正 予算④

問 市営霊園の建設はどのように進めるのか。
答 平成13年度に市内1

000世帯と50寺院に対してアンケート調査を行っており、今回、旧島根地区新興住宅地域や川根地区の住宅に対して新たな調査を行った。自由

にお参りできて宗教にこだわらない形での要望があると判断して調査、建設しようとしている。

問 ガス化溶融施設管理運営費の補正理由は何か。
答 コークスと灯油の当初予算は1億733万1000円であったが、燃料費単価の上昇に伴い補正するものである。当初

コークスは1kg45・15円で計算したが、10月から3月までは84円を予定している。また、灯油についても当初見込みは1リットル78・22円であったのが、9月から3月まで1リットル126円と大幅な増額となり、今回の補正額が6369万7000円で合計1億7102万8000円の予算となる。

☆田代の郷温泉条例

問 田代の郷温泉の運営はどのように行われるのか。
答 管理運営は市が行うが、食堂部門については地元依存することとなり、運営形態は基本的に川根温泉条例にならっている。

問 高齢者に対する割引が少ないと思う。川根温泉との共通券はないのか。
答 70歳以上の高齢者として割引がある。共通券は、川根は紙の回数券であるが、田代はポイントカードを想定して指定管理と直営という運営の違いもあるため無理である。

問 1回の利用時間が3時間となっているが、どのように管理するのか、また、最大入場者、駐車場はどの位か。
答 POSシステム導入により、時間管理をする。最大入場者は600人であり、駐車場は113台分ある。

☆生きがいセンター 条例改正

問 夢づくり会館を指定管理者に委託することにより、どの位のコスト削減が見込めるのか。また、今後のレセプションサービスの位置づけはどのようになるのか。
答 基本的経費と指定管理料の差額370万円位が削減できると思う。レセプションサービスについては、指定管理者の条件に入れることはできないが、今までの経緯があることは助言していく。

問 平成19年度に市の金券はどの位発行されているのか。また、有効期限が2年間、使用期限が6カ月であるが、長すぎないか。また、手数料はいくらか。
答 平成19年度に金券は1億2123万2000円発行されている。有効期限については適正であると思う。手数料は1枚につき10・50円で、住宅リフォーム事業では40万6801円の換金手数料を支払っている。

☆H19 一般会計決算

平成19年度に市の金券はどの位発行されているのか。また、有効期限が2年間、使用期限が6カ月であるが、長すぎないか。また、手数料はいくらか。
答 平成19年度に金券は1億2123万2000円発行されている。有効期限については適正であると思う。手数料は1枚につき10・50円で、住宅リフォーム事業では40万6801円の換金手数料を支払っている。



建設中の田代の郷温泉施設



指定管理となる夢づくり会館

総務消防常任委員会

付託された議案の審査を行い、1件（H20一般会計補正予算）の否決を除き、可決・認定すべきものと決定しました。主な審議内容は次のとおりです。

☆H20一般会計補正予算を否決

○五和地域交流センター建設事業費財源組み換え

問 財源の裏づけがないのに、議決したことをどう考えるか。

答 最終的な方針は7月4日に行った。その中で、慎重に対応することが必

要ということ、内容の確認、財源措置をどうするかを検討し、9月議会にもう一度諮って議論していたかどうか考えた。

問 金谷、五和の地域交流センターができたとき、金谷支所庁舎を解体する

のか。

答 金谷庁舎を解体した後の土地の有効な利用の方向性、新しい施設の整備の方向性、基本方針が出ないと、そのままつぶすわけにはいかない。

☆ふるさと応援基金条例

○ふるさと応援基金について

問 ふるさと納税制度との関係は。

答 ふるさと納税制度は一般的な名称で、地方税

法により、税額の控除制度という形で誕生した。

「ふるさと寄付金制度（いわゆる「ふるさと納税」）」と「ふるさと応援基金」の条例とは、契機が一緒で、ふるさとに対する思いから寄付金が増えるのではないかということから基金条例を提出した。

☆H19一般会計決算

○広域的多目的ドームについて

問 広域的多目的ドームの施設の内容は。

答 大規模な施設、いわゆるメッセと言われるも

ので、小規模な会議もできる施設を想定している。

○地域交流センター事業

問 金谷と五和の2つの支所ができて、金谷支所機能が維持できるか疑問である。

答 支所としての機能を2カ所で維持する方針は今後も変わらない。

○総合計画等策定準備経費

問 基礎資料とは、どのようなものを作成したのか。

答 総合計画策定のため

の準備作業という位置づけで、旧川根町、島田市の施策の達成度、新市になって一体化した場合の全体施策の体系化等、基礎的作業を行い資料としてまとめている。

☆H19川根町一般会計決算

○まちづくり川根の会運営経費

問 1050万円が支出されている。どう使うのか、支出の根拠は何か。

答 平成19年度分が50万円、平成20年度から平成24年度まで年間200万円の5カ年分、合わせて1050万円を交付金の総額としており、おおむね運営費に500万円、事業費に550万円と聞いている。

問 活動報告書やお金の使い道を毎年求めるか。

答 補助金という実績報告の手続きの規定がないので、今後、要綱の見直しを検討していきたいと考えている。



解体が予定されている金谷支所庁舎



ふるさと納税の広報に掲載された蓬萊橋

ザツ討論

認定第1号

○H19一般会計決算

反対討論

田代の郷温泉、総合スポーツセンター、金谷・五和地域交流センターなどに合併特例債を発行する。今年度は16億7400万円、次年度以降は52億円まで発行を見込んでいる。各自治体も合併特例債を発行し続けているので、国は予算措置できるのか。また、ラニンングコストもかかり、将来に負担を送るようになる。必要な施設でも集中しすぎであることから反対する。

反対討論

経常収支比率と義務的経費構成比が悪化し続けている。新たに公表された財政健全化比率は安全圏とはいえ、県内の他市と比較すると決していいとはいえない。(仮称)総

合スポーツセンター整備事業の費用便益報告書が208万円で策定された。体育館とプールの維持管理費が現在年間7260万円かかっているが、完成後は1億9330万円になると想定している。身の丈以上の箱物投資だ。市長の目先のばらまき政策と箱物行政を批判する。

賛成討論

「新島田市」の財政運営は臨時財政対策債による財源補てん、特定目的基金の活用などにより所要の財源を確保、また普通交付税措置のある有利な合併特例債を効果的に活用し、諸事業の効率的な執行に努めた。今後は将来にわたり持続可能な安定した財政を維持し、更なる行政改革に取り組みが必要があり、徹底した経費の簡素、合理化および重点的な事業への効果的な資金配分に鋭意努力

採決結果一覧 (賛成反対が分かれたもの)

○=賛成、△=棄権 ×=反対、- =欠席		H19年度一般会計決算認定					ふるさと応援基金条例	
◎会派名		H19年度一般会計決算認定	H20年度一般会計補正予算	H20年度介護保険特別会計補正予算	H20年度後期高齢者特別会計補正予算			
氏名	会派名							
平松吉祝	新生	○	○	○	○	○		
曾根嘉明	新生	○	○	○	○	○		
河原崎聖	政研	×	×	×	×	×		
飯塚栄一	政研	×	×	×	×	×		
村田千鶴子	新生	○	○	○	○	○		
杉村要星	新生	○	○	○	○	○		
仲田裕子	無	○	○	○	○	○		
佐野義晴	創和	○	×	×	×	×		
大石節雄	清流	○	○	○	○	○		
橋本清子	公明	○	○	○	○	○		
桜井洋子	共産	×	×	○	○	○		
福田正男	自由	○	○	○	○	○		
原木忍	政研	×	×	×	×	×		
木野慎吾	政研	×	×	×	×	×		
竹島茂吉	新生	○	○	○	○	○		
津田恵子	無	×	×	×	×	×		
坂下修	無	○	×	×	×	×		
紅林貢	創和	○	×	×	×	×		
溝下一夫	清流	○	○	○	○	○		
富澤保宏	公明	○	○	○	○	○		
松本敏	共産	×	×	○	○	○		
小澤嘉曜	自由	○	○	○	○	○		
酒井濟	政研	×	×	×	×	×		
大塚修一郎	政研	○	×	×	×	×		
田島建夫	創和	○	×	×	×	×		

※議長は採決には加わりません。

(議席順。敬称略)

賛成 ↓ 反対

結果は14ページ

することを期待し賛成する。

議案第146号

○H20一般会計補正予算

反対討論

谷地域交流センター建設

に回し、五和分については、合併特例債と一般財源に組み替えることを決めた。しかし、議会には何の説明もなく、議会に来る当てのない財源の事業を6月議会最終日に議決したことになる。議会軽視、非民主主義的なやり方は容認できない。公的年金から個人住民税を天引きするシステムの導入経費にも反対する。

反対討論

五和地域交流センター建設事業の合併推進補助金の財源組み替えが、6月20日には内定していたにもかかわらず、6月議会で修正もしない、議会へも報告しないことは議会軽視である。合併の約束ことは重みがある。合併後、わずか1年4か月で金谷支所を2か所に分割することを表明したこ

とも約束違反である。少なくとも10年間は、金谷地区中心部である現在の金谷支所を維持し様子を見るべきである。

反対討論

(仮称)五和地域交流センターの財源組み替えについて、(1)金谷庁舎の解体が前提だが、現庁舎を中心に金谷のまちづくりをしていくべきであった。(2)6月議会中に、国の補助金が得られないとわかっていった。その時点で議案を取り下げるべきであったが、市長は何の説明もせず、議会は予算の裏づけのないまま議決してしまつた。(3)地方自治は市長と議会の二元代表制である。権力を持つ市長に対して、議員の役割はそれぞれの考えで市長を質していくことだ。議案は取り下げるべきと主張する。

賛成討論

今回の補正は田代の郷温泉施設の外構工事等、(仮称)五和地域交流センター建設事業の財源組

替え、コミュニティバス運行経費不足見込額の追加、(仮称)老人福祉センターの備品購入費等、霊園施設の調査に要する経費、ガス化溶融施設の燃料の単価上昇による需用費の増額、静岡空港開港イベントへの経費に対する補助など鳥田市の将来を見据える中で必要性和緊急性を有している。また、厳しい財政状況を踏まえて内容的に精査された適切な予算措置であると考え、賛成する。



議会条例等に関する調査特別委員会（中間報告）

議会条例等に関する調査特別委員会は、地方自治法の一部改正への対応と議会基本条例制定に関する調査・研究を行うことを目的として、平成19年3月23日に設置されました。

議会基本条例の取り組みについては、平成19年7月17日から調査を開始し、16回にわたり委員会を開催しました（この間、伊賀市議会と三重県議会に視察・調査を、また、鳥田と金谷の2会場で議会基本条例策定のための市民との意見交換会を実施）。

その成果として、鳥田市議会基本条例（原案）をとりまとめ、9月2日の本会議で報告しました。原案の主な点は以下のとおりです。

- ・ 議会の活動原則については、①公正性、透明性の確保、②市民の多様な意見を把握し、市政に反映させる、③市の施策が効率的に実施されているか監視、評価する。
- ・ 市民参画と市民への説明責

任については、①市民の議会活動に参画する機会の確保に努める、②情報を積極的に発信し、説明責任を果たすよう努める。

・ 議会報告会については、議会の動向を伝え、また意見を交換するための議会報告会を開催する。

・ 議員相互の討議については、委員会等において積極的に討議するよう努める。

・ 政務調査費については、収

支報告書及び調査研究報告書を公開することなどにより、その用途を明らかにする。

今後は、原案を基にして、執行当局との意見調整・市民からの意見聴取を実施し、条例の最終案をまとめていく予定です。

※鳥田市議会基本条例（原案）については、議会のホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



2月16日に行われた意見交換会の様子

平成19年度決算 各会計決算を認定！

一般会計歳出決算額は 305億円

9月定例議会は、平成20年9月2日から9月26日までの25日間にわたって開催され、慎重に審議されました。今議会では、平成20年度一般会計補正予算が賛成少数で否決されました。主な内容は次のとおりです。

正・副議長選挙・ 常任委員会等委員 の選任

9月2日の初日に正・副議長の選挙を行いました。その結果、議長には中野浩二議員、副議長には佐野義晴議員が当選しました。併せて全議員が所属する3つの常任委員会、議会運営委員会および議会だより編集等に関する特別委員会の再編が行われました。

H19年度決算認定 (旧川根町含む17件)

決算の審議は、当局の行った事業の内容や成果を検証し、今後の市政運営に生かすという大切な仕事です。平成19年度の島田市の一般会計、特別会計および企業会計11件の決算を審議しました。また、今年4月1日に合

併した旧川根町の決算5件および同時に解散した島田市・北榛原地区衛生消防組合の平成19年度決算も併せて審議しました。決算額は別表の通りです。

H20年度補正予算 (一般会計は否決)

補正予算案は、一般会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計および病院事業会計の4件について審議しました。このうち一般会計補正予算案については、本会議での採決の結果、反対13、賛成12で否決されました。これに先立つ総務消防常任委員会でも否決されており、補正予算案の否決は島田市議会では始めてです。理由としては、予算案の中に五和地域交流センターの財源の組み替えが提案さ

れていたことです。6月議会では、市が財源に見込んでいた国からの合併補助金が半減されたことを採決後まで議会に報告していませんでした。正確な情報を公開しない中で採決、そして可決を余儀なくされたことは議会制民主主義を否定することとして問題視した結果です。

条例

条例案ではふるさと応援基金条例など11件が提案されました。納税を自らの出身地に対して行うことができるふるさと応援基金条例、ばらの丘公園条例および社会体育用照明施設の使用条例などが審議されました。また、指定管理者制度を金谷夢づくり会館およびばらの館にも導入する提案もされました。

議決結果一覧表

○全員賛成で認定、可決または適当と認める

- H19年度島田市決算のうち
 - 国民健康保険事業特別会計決算
 - 簡易水道事業特別会計決算
 - 土地取得事業特別会計決算
 - 休日急患診療事業特別会計決算
 - 老人保健医療事業特別会計決算
 - 公共下水道事業特別会計決算
 - 介護保険事業特別会計決算
 - 介護サービス事業特別会計決算
 - 水道事業会計決算
 - 病院事業会計決算
- H19年度川根町決算のうち
 - 一般会計決算
 - 国民健康保険特別会計決算
 - 簡易水道特別会計決算
 - 老人保健特別会計決算
 - 介護保険事業特別会計決算
- H19島田市・北榛原地区衛生消防組合一般会計決算
- H20島田市病院事業会計補正予算①
- 田代の郷温泉条例
- 職員の公益法人等への派遣等条例の一部改正
- 職員の勤務時間、休暇等条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 特別職報酬等審議会条例等の一部改正
- 職員特殊勤務手当支給条例の一部改正
- 手数料条例の一部改正
- 金谷生さがいセンター条例の一部改正
- ばらの丘公園条例の一部改正
- 市立幼稚園に関する条例の一部改正
- 社会体育用照明施設使用条例の一部改正
- 町の新設及び区域の変更
- 市道路線の認定
- 市道路線の廃止
- 工事請負契約
- 財産の取得(路線バス)

平成19年度会計の決算状況 (単位：万円)

Table with 4 columns: 会計, 歳入, 歳出, 差引額. Rows include 一般会計, 特別会計 (国民健康保険, 簡易水道, etc.), and 合計.

平成19年度企業会計の決算状況 (単位：万円)

Table with 5 columns: 水道/病院, 収益的/資本的, 歳入, 歳出, 差引額.

(注) 表中の差引額の不整合は、万円未満四捨五入による端数整理によるものです。

平成19年度榛原郡川根町会計の決算状況 (単位：万円)

Table with 4 columns: 会計, 歳入, 歳出, 差引額. Rows include 一般会計, 特別会計 (国民健康保険, 簡易水道, etc.), and 合計.

(注) 表中の差引額の不整合は、万円未満四捨五入による端数整理によるものです。

最終日の追加議案

9月26日の最終日には、議会側からは、農業委員会委員の推薦、市議会会議規則の改正など6件、当局側からは人権擁護委員の推薦、物損事故の和解、島田駅南北自由通路建設工事費の減額案が提

農業委員の推薦

案され、採決の結果すべて可決または適当と認められ、農業委員の推薦はありませんでした。

人権擁護委員の推薦

当局から次の2人の人権擁護委員を推薦してほ

- 落合哲男 (敬称略)
松本洋子
松浦みえ子
山岸佳男

- 井鍋和彦 (敬称略)
鈴木宅治



の農業委員を推薦しました。
(敬称略)
しい旨の提案がありました。
議会はこの提案を適当と認めました。

11月定例会の日程

第4回(11月)市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議の傍聴におこしください。いずれも午前10時開会です。

- 11月25日(火) 本会議(議案上程)
12月2日(火) 本会議(一般質問)
12月3日(水) 本会議(一般質問)
12月4日(木) 本会議(一般質問) 予備日
12月5日(金) 本会議(議案質疑)
12月9日(火) 常任委員会
12月18日(木) 本会議(最終日)

なお、この予定は変更されることがあります。

継続審査
川根地区から市民病院への直通バスを求める請願

その他
専決処分(物損事故の和解)(報告)
農業委員会委員の推薦(推薦)

賛成少数で否決
H20島田市一般会計補正予算④

賛成多数で認定、可決
H19島田市一般会計決算
H20年度島田市補正予算のうち
介護保険事業特別会計補正予算④
後期高齢者医療事業特別会計補正予算③
ふるさと応援基金条例

財産の取得(消防ポンプ自動車)
物損事故に係る和解
工事施行協定の一部変更
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
市議会会議規則の一部改正
市議会政務調査費交付に関する条例の一部改正

島田市議会基本条例に対する意見を募集します！

議会事務局 電話36-7205 F A X 37-2212

島田市議会「議会条例等に関する調査特別委員会」では、議会の責務、議会及び議員の活動原則、市民との連携などについて定める「議会基本条例」の制定を目指し、検討を重ねてきたところですが、このたび、「島田市議会基本条例」の原案をまとめました。この内容について、市民の皆さまのご意見を募集します。

- ◆閲覧開始日 11月14日（金）
- ◆閲覧場所 情報公開コーナー（市役所1階）、議会事務局、金谷支所、川根支所
※市のホームページでも公開します。
http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp
- ◆提出方法 住所・氏名を明記の上（様式は特に決めていません）、郵送・ファクス・Eメールのいずれかで提出してください。
〒427-8501 島田中央町1-1 島田市議会事務局
メールアドレス gikai@city.shimada.shizuoka.jp
- ◆意見募集期間 平成20年11月14日（金）～12月15日（月）
- ◆その他 提出されたご意見は、整理・集約して公表します（個々の意見に対する直接の回答は行いません）。



議会基本条例制定のための 市民との意見交換会を開催します！

意見募集の一環として、本条例（原案）について意見交換会を開催します。ぜひ、お越しください。

- ◆内容 「議会条例等に関する調査特別委員会」の委員が条例の原案の基本的な考え方について説明します。

◆日時・場所・意見交換のテーマ

日 時	場 所	テ ー マ
11月21日（金） 午後7時～9時	島田市役所（北側） 会議棟1階 大会議室	議会基本条例について その他

※出席者の皆さまからいただいたご意見は、条例制定のための参考にさせていただきます。

編集後記

9月定例会において議会の構成が変わりました。本会議では合併市町村補助金の削減により、（仮称）五和地域交流センターの対応について議会に対する当局側の説明責任が問われ、H20年度の補正予算が12対13で否決された大きな波紋を呼びました。この補正はいくつかの市民生活にかかわる案件の上程です。10月14日に臨時会が開かれることになりました。この10月よりFM島田が開局され、市の方針として音声媒体による「議会だより」の情報提供を検討中です。今号より編集委員は新旧混じってスタートし、市民感覚にてわかりやすい紙面に努めてまいります。どうぞ皆様のご意見として議場への傍聴をお待ちしております。



議会だより編集等に関する 特別委員会

- 委員長 村田千鶴子
- 副委員長 松本 敏
- 委員 仲田 裕子
- 大石 節雄
- 橋本 清
- 溝下 一夫

島田市議会事務局 ☎ 36-7204
Eメール gikai@city.shimada.shizuoka.jp